

試合番号 : 481		試合会場 : 深谷市総合体育館 (深谷ビッグタートル)				観客数 : 1,343	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:26		試合時間 : 02:26		主審 : 高橋 宏明	
副審 : 品川 美帆		通算		25 第1セット 23		東レアローズ	
埼玉上尾メディックス		24勝 8敗 ポイント: 70		21 第2セット 25		通算 26勝 7敗 ポイント: 73	
監督コメント	レギュラーラウンドをより高い順位で終えるために非常に重要な試合でした。とてもタフなゲームでしたが、焦らず慌てずに埼玉上尾メディックスのクオリティを保ってくれました。東レアローズに追い込まれた場面でも感情をコントロールできたことに成長を感じますし、明日から続くよりタフなゲームへの良い試練となりました。ご声援ありがとうございました。		3		2		監督コメント 本日も沢山のご声援ありがとうございました。埼玉上尾の高さあるブロックと、粘りのディフェンスに苦しい場面が続きましたが、自分達も負けずに粘り強く戦ったと思います。今日の課題をしっかり修正し、ファイナル4に向けてチーム一丸となり、さらに一体感をもって戦っていきます。ファイナル4でも沢山のご声援よろしくお願います。
			25 第3セット 18				
			21 第4セット 25				
			15 第5セット 12				
			要約レポート				
第1セット序盤、埼玉上尾メディックスはアウトサイドヒッターの佐藤、ロソが得点しリードするが、東レアローズは石川のサーブで逆転する展開となる。終盤、埼玉上尾は粘り強いディグからオポジットの内瀬戸がスパイクを決め、最後はサンティアゴのブロックでセット先取した。 第2セット、埼玉上尾はサンティアゴの活躍で得点を重ねる。対する東レアローズは石川、クランのスパイクで逆転する。中盤、埼玉上尾は佐藤のスパイクで同点に追いつくも、東レアローズは石川の巧みなスパイクと黒後のスパイクでセットを取り返す。 第3セット序盤、東レアローズは石川、クランでリードする。対する埼玉上尾は内瀬戸のサービスエースで同点に追いつくが、東レアローズは黒後のスパイクで逆転する。しかし、埼玉上尾はリリーフサーバーの岩澤がサーブで効果的に崩し、セッター岩崎の多彩なトスワークで攻撃を組み立て、このセットを奪う。 第4セット、東レアローズは黒後のサーブから6点リードする。埼玉上尾は佐藤のスパイクにより、流れを引き寄せ追いつく。その後は一進一退の攻防が続いたが、最後は石川のブロックにより、東レアローズがこのセット奪い、最終セットまで持ちこむ。 第5セットは序盤から一進一退の攻防であったが、埼玉上尾・仁井田のスパイクでコートチェンジすると、サンティアゴと佐藤のブロックで流れを引き寄せ、最後はロソがスパイクを決めて勝利した。							

試合番号 : 482		試合会場 : 深谷市総合体育館 (深谷ビッグタートル)				観客数 : 1,000	
開始時間 : 16:15		終了時間 : 17:32		試合時間 : 01:17		主審 : 饗庭 和恵	
副審 : 津嶋 由香		通算		25 第1セット 17		デンソーエアリービーズ	
NECレッドロケッツ		22勝 10敗 ポイント: 70		25 第2セット 20		通算 14勝 19敗 ポイント: 44	
監督コメント	たくさんの応援をありがとうございます。序盤からサーブで自分たちのリズムを作れたところと、勢いのあるオフェンスをやり続けられたことが良かったと感じています。負けられない戦いが続きますが、明日もチーム一丸となって挑んでいきたいと思ひます。明日も熱い応援をよろしくお願ひします。		3		0		監督コメント 今シーズン最後の試合を勝つて終わろうと試合に臨みました。リードされる場面があつても、簡単にボールを落とさずに粘りに随所に生かした展開を作りました。今日までの33試合というたくさんの試合を通して、バレーボールファンの方々、デンソーエアリービーズを応援していただいた方々、会場にて一緒に盛り上げていただいた方々など、多くの方々に元気や勇気、明日からの活力を届けられたと思っています。ファイナル4へ進出できなかった悔しさを来シーズンに繋げていきます。勝った時も負けた時も支え、声援を送ってください、ありがとうございます。
			25 第3セット 18				
			第4セット				
			第5セット				
			要約レポート				
V・レギュラーラウンド5位のNECレッドロケッツと、6位のデンソーエアリービーズの試合。 第1セット、NECは古賀のサービスエースや速いバックアタックが決まり、ゲームの序盤で主導権を握る。その後も、NECは効果の高いサーブで崩し、アタッカー陣の強打でデンソーを圧倒する。デンソーは中元、兵頭のスライクで応戦するが、NECはリリーフサーバー井上のサービスエースで点を差を広げると、最後は古賀のスパイクがインナーに決まり、NECがセットを先取る。 第2セット序盤、デンソーはネリマンにボールを集め得点し、さらにNEC・古賀のスパイクをネリマンがブロックし、デンソーがリードする。強打で押すNECと、粘り強いレシーブで食らいつつデンソーによる一進一退の攻防が続くが、NECが上野の連続サービスエースと、山内のスパイク、二枚代で途中出場した廣田のスパイクとブロックで終盤の流れを作った。最後はNEC・ウィルハイトのスパイクが決まり、セットを連取した。 第3セット、NECはセッター澤田のトス回しから、古賀、山内、島村のスパイクがコートに突き刺さり、リードする。デンソーのミスもあり、12-6でテクニカルタイムアウトを迎える。デンソーは安定したサーブレシーブから、このセットから出場のライト吉田にボールを集め得点する。横田の移動攻撃、兵頭の巧みなブロックアウトが決まり、詰め寄るも、その流れをNEC・山内が強打で打ち砕く。最後は島村がボールを押し込み、NECがストレートでデンソーを下した。NECは今日の勝利で暫定4位に浮上し、ファイナル4進出に望みをつなげた。							

試合番号 : 483		試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイニング体育館 (姫路市立中央体育館)				観客数 : 1,268	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:24		試合時間 : 01:24		主審 : 増岡 三佳子	
副審 : 吉岡 奈々		通算		14 第1セット 25		PFUブルーキャッツ	
ヴィクトリーナ姫路		5勝 27敗 ポイント: 20		21 第2セット 25		通算 12勝 21敗 ポイント: 36	
監督コメント	本日も多くの皆様にご来場賜り、誠にありがとうございました。PFUの高さのあるオフェンスに対して、粘り強くブロックに行くことでブレイクチャンスをつかめたことが、アコスタ選手とジャン選手の攻撃に対応できなかったことが敗因である。自チームのディフェンスを再整備して明日のゲームに臨みたい。明日は今季最後のホームゲームである。感謝の念を持ってゲームに臨みたい。明日もご声援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。		0		3		監督コメント リーグ最終戦、総力結算、全員活躍ということで挑んだ試合。ゲーム内容も良く、PFUらしい戦いができたのではないかと。先週の敗戦からこの試合の勝利のためにモチベーション高く挑んだことが勝利につながった。今シーズンの結果は満足のものではなかったが、選手たちは日々努力し、勝利に向けて練習に励んでいた。更なる飛躍に向けてこれからも頑張っていきたいと思ひます。今リーグ戦を通して応援していただいた皆様、本当にありがとうございました。
			15 第3セット 25				
			第4セット				
			第5セット				
			要約レポート				
ヴィクトリーナ姫路のホーム最終週第1戦目は、PFUブルーキャッツを迎えての一戦となった。 第1セット序盤、PFUはアコスタのスパイクや志摩のサービスエースでリードを広げる。姫路は宮部や古市のスパイク、貞包のサービスエースで食い下がるが、森田のレシーブを中心とする堅い守りを崩すことができず、PFUがセットを先取した。 第2セット、中盤まで一進一退の攻防となるが、PFUはジャンのフェイントやスパイクでリードを広げる。姫路は松本のスパイクやコートを取けるレシーブで追いつけるが、最後は志摩がスパイクを決め、PFUがセットを連取した。 第3セット、PFUは田原のトスが冴え、序盤からリードする展開となる。姫路は花井や途中交代が入った野津のレシーブから、宮部や古市がスパイクを決めて食い下がるが、相手の勢いを止めることはできず、セットカウント3-0でPFUが勝利した。							

試合番号 : 484		試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイニング体育館 (姫路市立中央体育館)				観客数 : 750	
開始時間 : 16:00		終了時間 : 18:20		試合時間 : 02:20		主審 : 明井 寿枝	
副審 : 長崎 有紗		通算		18 第1セット 25		岡山シーガルズ	
日立Astemoリヴァーレ		13勝 19敗 ポイント: 39		25 第2セット 23		通算 9勝 24敗 ポイント: 33	
監督コメント	残りの2戦をどう戦うのかを話し合い、チームとして雰囲気よく粘り強く戦おうと試合に臨みました。サーブで崩され、苦しい場面もありましたが、全員が勝利を信じ、粘り強く戦ったことが結果につながったと思います。明日は今シーズン最後の試合です。今までやってきたことの想いを込めて、今シーズンで一番良い試合ができるようチーム一丸となり全力で戦って抜きます。捨てずに強いリヴァーレをお見せしますので、明日もご声援をよろしくお願ひします。		3		2		監督コメント 第1セットの良い流れで、安心感が出てしまった。その後、読みがずれると焦りが出だし、ポイントに結び付かなくなった。よく頑張ったが、技術の足りなさを一人ひとりが正しく認識する必要があります。本日は会場に足を運んでの大応援、誠にありがとうございました。
			23 第3セット 25				
			25 第4セット 23				
			17 第5セット 15				
			要約レポート				
第1セット序盤、岡山シーガルズの中本が連続サービスエースで流れをつかんだ。日立Astemoリヴァーレも入澤、長内のスパイクで流れを断ち切ろうとしたが、岡山の堅い守りを崩せず、岡山がセットを先取した。 第2セット、序盤から一進一退の攻防となり、両チームとも流れがつかめない。終盤、日立Astemo野中、室岡がスパイクを決めると、岡山・高柳のブロック、佐伯の力強いスパイクで反撃するも及ばず、最後は日立Astemo室岡のスパイクでセットを取り返した。 第3セット、序盤から岡山・及川、中本のスパイクが決まり、リードを広げる。日立Astemoも長内のスパイク、倉田のサーブで1点差まで迫ったが、最後は佐伯が決めて、岡山が取り返した。 第4セット、お互いにレシーブで長いラリーの応酬になり、観客を沸かせた。両者譲らない展開になったが、日立Astemo入澤のスパイクとブロックが決まり、決勝は最終セットに持ち越された。 第5セットも前セット同様に、序盤から譲らない展開となった。岡山・高柳がブロック、長瀬はサーブを決めれば、日立Astemoも長内、入澤がスパイクを決める。デュースへともつれ込んだが、最後は雑賀のトスワークに応えた日立Astemoが岡山を振り切り、激闘を制した。							